

No.157



2021.Winter

〒840-0054 佐賀市水ヶ江3-1-25 電話 0952-24-2244 FAX 0952-24-3828 URL <https://www.sagaryukoku.ed.jp>**新人戦****剣道部優勝!!**

**高校生 ICT 利活用  
プレゼンテーション大会**

**優秀賞！**



## これからのかが求める 学校像



主幹教諭

中島一明

学校教育は「新学習指導要領」へ。これからの教育は、「どのような力（資質・能力）を身につけるのか」「何ができるようになるのか」まで踏み込む教育へと変わる。この新学習指導要領は、2020年に小学校、2021年には中学校で全面実施され、2022年からは高校で順次実施されることになっている。「学びに向かう力」「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」という3つの資質・能力の育成が主軸となる。これを受けて、実際に大学入試は「知識・技能だけではなく、思考力・判断力・表現力も重視した入試へ変わった。21世紀の社会を生き抜くために必要な資質・能力が大きく変わったためである。

社会は、グローバル化、情報化、少子化、高齢化、社会全体の高学歴化等を背景に、社会構造の大きな変動期を迎えており、変化のスピードもこれまでにくくなっている。これらの社会は、政治・経済・文化等のあらゆる分野において、人材の質がその有り様を大きく左右する社会であり、教育の質が一層重要となる。特に我が国のように、天然資源に恵まれず、少子化や高齢化の進展が著しい国においては、生産性の高い知識集約型の産業構造に

転換し、国際的な競争力を維持していく必要がある。既存知の継承だけでなく未来知を創造できること、極めて有する人材を育成することは、極めて重要な課題なのである。

一方、変化の激しいこれからのか社会において、一人一人の子どもたちがそれぞれの可能性を伸ばし、一生を幸福に、かつ有意義に送ることができるようにするためには、一人一人が自ら考え、行動していくことのできる自立した個人として、心豊かに、たくましく生き抜いていく力が重要となる。そのような力を教育を通じて育成する必要性が一段と高まっている。

社会の大きな変動に伴い、学校に対して必要な学力や体力、豊かな心を育成する質の高い教育を求める声が高まっている。これからの中学校は、子どもたちの「知・徳・体」にわたるバランスの取れた成長を目指し、高い資質・能力を備えた教員が指導に当たり、保護者や地域の人との適切な役割分担を図りながら、活気ある教育活動を展開する場となる必要がある。また、これからの中学校には、保護者や地域の人の意向を十分に反映する信頼される学校となるため、教育を提供する側からの発想だけではなく、教育を受ける側の子どもや保護者の声に応える教育の場となることが求められている。そんな

京都には清水寺や金閣寺など観光を中心とした寺院と、西本願寺や東本願寺、知恩院（浄土宗本山）などご門徒（信者）によつて支えられている寺院の二種類があります。

今から30年ほど前になりますが、私が西本願寺広報部職員であった時、ユネスコから世界文化遺産に指定しますという通知がありました。世界文化遺産に指定されたら、本堂改造など自由な宗教活動が出来なくなります。数年後には本堂を椅子席に改造し一日3千人の参拝者を受け入れる大法要を行う計画がありました。ユネスコから連絡を受けた当時の重役は「宗教活動に制約が生じますので、世界文化遺産の指定は受けられません。どうぞ他のお寺を指定して下さい」と断られました。数日後、今度は副市長がお出でになり「京都市はこれから文化都市・観光の町として生き残り発展して行かなくてはなりません。京都の町に世界文化遺産が10も20も指定されなければなり

## 文化財の宝庫「西本願寺」



今では京都市は文化財の町として世界に名を轟かせる観光都市となりました。

皆さんも、新型コロナウイルス蔓延が終息し自由に旅行が出来るようになつたら、文化財の宝庫京都「西本願寺」に是非参拝して下さい。

但し、二つの御堂（阿弥陀堂・御影堂.. いずれも国宝）以外は非公開です。宗教部の先生に相談して下さい。

（文責：法人本部・熊谷法明）



## 2年生 企業CMコンペ

高校2年生は、10月21日～23日に職場体験の代替として、佐賀の企業・名産を取り上げたCM制作を実施しました。

生徒たちは、初めてのCM作成に苦戦しながらも、グループで協力し合い、CM制作に励んでいました。出来上がったCMは、どれも趣向を凝らした作品ばかりで、企業の方にCMをお送りしたところ、「とても素晴らしい出来で、社長も喜んでおりました。みなさん楽しそうで、焼豚ラーメンがその一部になれたこと、大変嬉しく思います。(サンポー食品様)」「とてもよくできていると思います。高校生が村岡屋のお菓子をどの様に捉えているのか垣間見れ、大変興味深く拝見させていただきました。(村岡屋様)」といった声をいただき、大変好評のようでした。

(文責 小杭)



## 学園報恩講

「学園報恩講」が執り行われました。「報恩講」とは、宗祖親鸞聖人が真実のみ教えを伝えてくださったご恩に感謝する、浄土真宗における最も大切な行事です。本学では中高どもに毎年12月に、発祥の地である願正寺に全生徒・職員が参集して執り行います。

今年度は社会状況に合わせ、宗教部職員・仏教コース講師が願正寺からモートで配信を行いました。また白石組超光寺から藤永弘真師にお越しいただき、「報恩」をテーマにご法話をいただきました。生徒は各教室からの参加となりましたが、年に一度の大切な行事を勤修できたことを有難く思います。

(文責 平井こ)

## 令和2年度 高校生ICT利活用プレゼンテーション大会

佐賀県教育委員会主催の「高校生ICT利活用プレゼンテーション大会」が12月12日に佐賀市文化会館ホールにて開催され、本校特進科1年永渕世規さんが出場し、優秀賞を受賞しました。私立高校からの本選出場は初めてとのことで注目が集まる中、「ICT×高齢者～おじいちゃん、おばあちゃんに優しいICTを～」をテーマにプレゼンテーションを行いました。iPadなどの便利なデバイスを、高齢者にこそぜひ使ってほしいという思いのもとに提案されたアイデア、落ち着いたプレゼンテーションの態度など総合的に高い評価を受けることができました。

以下、永渕さんの感想です。

「今年、入学者全員にiPadを貸与された私たちは、この環境だからこそ出来るさまざまな活動に取り組んできました。アプリを使って予習復習や課題の提出をしたり、プレゼンテーションのためのスライドを作ったり、文化祭ではCM作りにもチャレンジしました。

そうしたチャレンジの一環として取り組んだICTプレゼンテーション大会には、私たちのクラスから個人、グループ合わせて6チームがエントリーしました。そのうち、私のプレゼンが本選に出場することに決まり、嬉しさと同時に、もっとよいプレゼンにしたいという意欲がさらに湧きました。

プレゼンテーションの要となるスライドの構成や、話し方、振る舞い方は、中島先生、副島先生、中村先生に丁寧に指導していただき、伝えたいことが効果的に伝わるプレゼンテーションに仕上りました。試験勉強と平行しながらの準備は大変で不安になることもありましたが、先生方のサポートのおかげで、大会当日は自信を持ってプレゼンテーションができました。

この経験を通して得たものは大きく、さまざまな問題や課題について考えたことをいろんな人と共有し、共に考えていくための発信力が必要だと改めて感じました。」

(文責 平井な)



# ～ふれ愛・支え愛・学び愛～

## 県立盲学校ブラインドサッカー交流会

12月7日、龍谷高校人工芝サッカーラウンドにおいて、ブラインドサッカー女子日本代表藤井潤コーチに来ていただき第2回ブラインドサッカー交流会を実施しました。昨年度より始まったこの交流会でしたが、今年は新型コロナウイルスの関係で2回の延期があり、ようやく開催することができました。暖かな日差しに恵まれ、人工芝を撫でながら感触を楽しむ生徒さん、サッカー部員と手を繋いでグラウンドを歩き回る生徒さん、様々な交流をしました。帰り際には選手にしがみついて帰ろうとしない児童もいました。「またあいでのね、待つ



てるよ。」とバスに乗せ、名残を惜しました。本当は三連覇を成し遂げて一緒に楽しみたかったですが、最後に盲学校の金丸先生より「私たちは龍谷高校のサッカー部を応援しています。来年はまたぜひ選手権に出場してください。」という温かいお言葉をいただきました。選手たちもこの交流を通して、世代を超え、障がいを超え、お互いに学びあえる、触れ合える、支えあえるスポーツの持つ大きな可能性を実感すると同時にこのご縁に感謝をしたようです。

(文責 不二見)

### 《ポートフォリオより》

「自分は高校生4人と小学2年生の子と活動をして、子供たちは楽しい時には全力で喜んで、分からぬことなどがあると上手く反応してくれませんでした。そこで自分はその子供たちにしっかり今何が起こっているかを表現してあげるのが大切なと思いました。自分もアイマスクをつけて活動する中で目が全く見えないと怖くて1人で歩くのも大変だと思いました。そこから改めて学んだことは、視覚障がいの方などには、絶対に不安にならないように歩くペースや周りへの配慮などを忘れてはいけないということです。そして、一緒に活動する中で子供がジャンプしたりして喜んでくれた時はとても嬉しかったです。」

(2年文理進学コース田中くん)



「視覚障害者に対しての教え方を学び、実際に体を動かしてあげるとか言葉で誘導することを意識して教えることができたのでよかったです。視覚障害者の中にも見える範囲が一人一人違うのでその人にあった教え方や関わり方を覚え、教えることができてとても良い経験になりました。自分もブラインドサッカーをしてみて目が見えないというのはとても大変であり怖く感じました。そういう当たり前ではないということを日々の生活から思って過ごしていきたいと思いました。」(1年総合コース小野くん)

## 龍谷×SDGs

## 「わたし遺産」作文・SDGs書作展

三井住友信託銀行ロビーをお借りして作品展を開催しました。

中学校国語・書写の時間、未来に残したい「わたし遺産」をテーマに作文し、そのキーワードを書作品にしました。そして、日ごろ心掛けているSDGs目標に繋がる気付きを発表。

岩野凜さん（③旭）は【繋】（地域に根差した心のつながり）を、黒尾丸麻美さん（③北方）は【人から人へ】（自らが実行したヘアドネーション）を伝えました。

(文責 徳森)



保育コース3年生

## 卒業ピアノ発表会

保育コース3年生（39名）の卒業ピアノ発表会が令和3年1月16日に佐賀県立美術館ホールで開催されました。保育コース1年生（19名）、2年生（36名）と保護者が鑑賞する中、換気などの感染症予防を徹底して実施されました。

発表会は四部構成で行われ、鬼崎安菜さん（③城東）の「花の歌」から始まり、最後は高田夕里愛さん（③鳥栖西）の「ノクターンop.9-2」まで、3年生全員がこの日のために懸命に練習を重ねた曲を披露しました。曲はクラシック以外にもディズニーやジブリアニメの曲など、それぞれの生徒が自分自身で選んだ曲を演奏しました。

高校に入って初めてピアノを弾くという生徒もいましたが、保育コース三年間の学びの集大成として見事に演奏することができ、多くの拍手を頂きました。

（文責 平井な）



## お兄ちゃん、お姉ちゃん、掘れたよ！

～龍谷こども園×サッカー部×保育部 芋掘り体験～

12月22日、本校サッカー部が借りている農園で、夏に種植えをしたさつまいもの収穫を行いました。雨が少ないこともあり、土が固まっていたので、前日に北川副地区の農家でいつもサッカー部の農業活動をサポートしてくださっている中川さんとサッカー部員で事前に掘り起こし、園児たちが掘りやすいようにしてあきました。園児たちは「お姉ちゃん、これあっきいよ！」「お兄ちゃん、ここ掘って！」と言いながら土の中の芋を一生懸命探していました。重さを測る時には、「これ短い針がないよ」「しゅばらしか？」と言いながらメモリをなでている姿がとても可愛かったです。たまご2組（3歳児）の石橋春薫（はるか）ちゃんは、「はるかね、3歳になってお兄ちゃん達とお芋掘りに行って、力ゴにいっぱいに入れて、お芋掘りが大好きになった！！」と一生懸命お話ししてくれました。さあ、このさつまいもで何ができるかな？？

（文責 不二見）



## 龍谷×SDGs

## SDGs活動をプレゼン！！！

三井住友信託銀行様の勉強会にてこれまでのSDGs活動をプレゼンしました。

松枝光さん（③川副）は一昨年、SDGsさがアクションブック作成・地元「シチメンソウ」

をテーマに京都で龍谷総合学園生徒交流に参加し、また東与賀清掃活動・シチメンソウ新聞発行を行いました。

松枝さんは「この活動を今年度も続けたかったが、コロナ禍でなかなか動くことが厳しかった。日ごろ、SDGsに取り組んでいらっしゃる三井住友信託銀行員さんにプレゼン、交流ができて、うれしかった。高校卒業後も活動を継続する意思が固まった。」と決意を新たにしました。

（文責 德森）



## 祝!!優勝 女子剣道部主将特別インタビュー



12月19日（土）、12月20日（日）にみやき町中原体育館にて、令和2年度佐賀県高等学校新人剣道大会と第17回佐賀県高等学校剣道大会とを兼ねた大会が実施されました。女子は優勝、男子は準優勝の快挙！当日について顧問の坂井先生は「女子は一回戦からの動きや試合の流れが良かった。準決勝にて地区大会で負けた相手に勝ち、決勝はそのまま勢いに乗り快勝することができた。全体的に冷静に試合運びができる、一人ひとりがポジションの役割を果たせたことが優勝につながったと感じる。男子は準優勝ながら、反省が多くあった。九州大会や今後の試合に向け、課題を解決していくきたい」と振り返ります。今回、九州大会並びに全国大会を控えた女子主将、東堂陽葵さん（②龍谷）にインタビューを行いました。

——試合当日はどのような心境でしたか？

**東堂**：絶対に皆で優勝するんだ、という気持ちでした。練習のときからチームで戦うことを強く意識して、いつもチーム内でコミュニケーションをとって皆でアドバイスをしあっていました。学年に関係なく、対等に。まとまりのある雰囲気を作ろうとしてきたので。

——では、試合の最中はどうでしたか？

**東堂**：今回は、私のところに来るまでにだいたいの試合は結果が決まっていました。ですが、まわってきたときには自分で決めてやろうと心を決めていました。これはいつもですが、試合中はとられてもいい方に考えて、プラスに考えるようにしています。気が落ち込むと動けなくなってしまうので。

——優勝が決まった瞬間はどのような気持ちでしたか？

**東堂**：うれしかったのが一番です。私個人のことを言うと、決勝の試合では負けてしまったので悔しかったですが。本当に全員でつかみ取った優勝なので、練習からやってきたことが結果につながってうれしく思いました。

——最後に一言お願いします。

**東堂**：今回、試合前に坂井先生や長谷川先生につくってもらった動画を観たことがモチベーションに繋がりました。仲間や先生、親、支えてくれる人たちがあってこそ今回の優勝だと思います。本当に感謝しています。

九州選抜大会が2月13、14日に沖縄県那覇市にて、全国選抜大会が3月27、28日に愛知県春日井市にて実施される予定です。応援よろしくお願いいたします。

(文責 石橋)



## 第44回佐賀県高等学校音楽コンクール ピアノ部門 金賞

## 第44回全九州高等学校音楽コンクール 佐賀県代表

### 藤生一華さん（②龍谷）特別インタビュー

藤生さん、このたびは受賞おめでとうございます。

また、藤生さんはこれまでにも数々のコンクールで素晴らしい成績を残されています。

——今大会当日はどのような心境で臨みましたか？

**藤生**：他県のピアノ友達と「お互いに県で一位になって全九州で会おう」という約束があったのでこの大会を一つの目標にしていました。練習は順調ではありませんでしたが、とにかく弾き込んでいたので、何とか手が勝手に動いてくれました。一位が決まった時、嬉しいというより、プレッシャーから解放されてほっとした感覚になりました。

——普段はどのくらい練習していますか？特進科の毎日の学習との両立も大変かと思いますが。

**藤生**：平日は3～5時間、休日は可能な限り一日中練習しています。コンクールが続くと学習との両立はとても大変です。

——今後の抱負を聞かせてください。

**藤生**：二度短期留学したイタリアのイモラ音楽院でペトルシャンスキー先生にまた師事したいという気持ちと、小学生の頃からの希望であるパリのコンセルヴァトワールに留学し、ラヴェルやサンサーンスのようなフランスものが弾ける演奏家になりたいと考えています。

藤生さん、ありがとうございました。これからも活躍を期待しています。

(文責 平井な)

空手個人形 九州北ブロック優勝！ 吉田大倭さん(②城北)特別インタビュー

令和2年度第40回全九州高等学校空手道新人大会と第40回全国高等学校空手道選抜大会予選会とを兼ねた大会が11月6, 7, 8日にひなた武道館にて開催されました。本大会男子個人形北ブロックで本校の吉田大倭さん（②城北）が優勝。早速インタビューを試みました。

――大会までどのような努力を積み重ねましたか？

**吉田**：意外に思うかもしれません、あまり体力を使う練習はしませんでした。形は自分の中にあるイメージを体現できるかどうかが重要ですので、まずそのイメージがしっかりしてないといけません。後輩の動きを見たり、自身の動きを反省したりして自己チェックを繰り返していました。前日の会場練習でも、身体を動かしての練習はありませんでした。



——大会本番は緊張しましたか？

**吉田**：あまりしませんでした。前日の練習で、空手の先生が「ここにいる全員、お前よりうまい。ただ、皆、本番では力の7、8割しか出せない。お前が10割の力を出せれば必然的に勝てるから、優勝したいとか思わずには普段やっていふことをやれ」と言ってくれました。その言葉のおかげで、余計なことを考えずに臨むことができました。

——今後の抱負をお聞かせください。

**吉田**：今度の全国大会や、インハイで優勝してナショナルチームに入りたいです。頑張ります！

全国大会は3月24日に東京にて行われる予定となっています。応援のほどよろしくお願ひいたします。

(文青 石橋)

優勝	。3	。2	優勝	。男子團體形	優勝	。男子團體形	優勝	。男子團體組手
男子個人組手D階級	男子個人組手B階級	男子個人組手A階級	吉田 大倭	吉田 大倭	吉田 大倭	吉田 大倭	吉田 大倭	吉田 大倭
江里口	久保田誓也	久保田誓也	山口 大地	山口 大地	山口 大地	山口 大地	山口 大地	山口 大地
福	大倭	大倭	吉田 大倭	吉田 大倭	吉田 大倭	吉田 大倭	吉田 大倭	吉田 大倭
②小城	①②鳥栖北	①②鳥栖北	②多	①鳥	②城	②多	①鳥	②北
城	刈	刈	良	栖	城	良	栖	北

△第38回全九州高等学校新人陸上競技大会	10月16日～10月18日
2 長崎県総合運動公園・陸上競技場	。三段跳
優勝 棒高跳	。優勝 林田 悠吾 (②福富)
優勝 小野 風大 (②福富)	。8種競技 位
優勝 川久保賢斗 (②小城)	。4位
△令和2年度 佐賀県高等学校自動車競技新人大会(10月24日) 武雄競輪場	○
優勝 芹田 康暉 (①武雄)	。フライング2000m
優勝 1kmタイム・トライアル 45分34秒45	。1kmタイム・トライアル
優勝 芹田 康暉 (①武雄)	。3kmインディヴィデュアル・ペーシュート
優勝 坂本 拓也 (①小城)	。4分10秒98

優勝	。男子個人形	。女子個人形	。男子個人形	優勝
。男子個人形	。女子個人形	。女子個人形	。男子個人形	三満昭信(2)
吉田	深江里口	木藤大倭(2)	吉田大倭(2)	多良
城北	福大倭(2)	平山大倭(2)	平山大倭(2)	城北
城北	城北	城北	城北	城北



◇第14回JKJC全日本シニア空手道選手権大会(2年12月20日)国立代々木競技場第一体育館

◇ 第32回佐賀県高等学校総合文化祭 美術・工芸部門 10月8日  
佐賀県立美術館・博物館

書道部

# 情熱全開、輝く「個性」!!

龍谷中学校 2020 三学期

中学校

## 新たな取り組みで一致団結

### 「文化発表会」

令和2年10月31日（土）、中学校文化発表会が本校講堂にて開催されました。新型コロナウィルス感染症の影響で開催が危ぶまれましたが、感染対策を図りつつ、これまでのやり方とは違う、新たな手法を模索しての発表となりました。

クラス別の合唱は、「密」「飛沫拡散」を避けるため、事前に歌声だけを録音し、整列して映像に音を重ねました。また、これまで学年別に披露していた劇を、三学年全体が合同で演じる学校劇としました。これまでのように舞台上での演劇ではなく、講堂前方スペースをまさに舞台に見立て、役者の生徒は広い空間で伸び伸びと役を演じました。

今回の演目は「True Distance」（脚本、本校教諭 中村純二）。そして、舞台監督、役者、大道具、音響など、生徒全員が役目を果たし、自分たちで一つの作品を作り上げました。

（文責 松尾）



## STEAM教育の視点を取り入れた龍谷中学校ゴミ問題プロジェクト

龍谷中2、3年生はSTEAM教育の視点を取り入れ、ゴミ問題について考えた。特に、龍谷中周辺および校内など、身近な環境が抱える問題を解決するための探究活動に取り組み、それがSDGsの目標を達成することにつながることを学んだ。9グループに分かれ、学校周辺と校舎内をリサーチ。見つけたこと、気づいたことはiPadで画像や動画を撮影し、校内ネットワークのTeamsを通して参加者全員で共有し、各グループで解決すべき課題を設定し、各グループでできることを提案することになった。ごみ分別を分かりやすくするラベル作成、ごみの知識が学べるアプリのアイディア、啓発動画の作成の他、さらにプログラミング可能なレゴブロックを使用し、便利なゴミ箱の試作品を製作したグループもあった。彼らはセンサー技術を利用して自動開閉式のゴミ箱を制作したが、専門家の意見を仰ぎたいと、佐賀市清掃工場を訪問し、担当者の方々に相談することもできた。テクノロジーの力を使うことでアイディアを「表現」することが可能になるが、アナログな発想もうまく取り入れている。マイクラフト（仮想空間）でプロックを組み上げ、様々なものを作る共同制作アプリを使って、誰もがゴミを捨てにくい美しい校舎の試作品（プロトタイプ）を作成したグループは、龍中校舎である振風館をリアルに制作するために、マップアプリの衛星画像を利用し、プロックの数を計算して理数的なものの見方を取り入れた活動を行っていた。



このほか、この活動の発表会では、Teamsを使用し、各グループの発表後、生徒全員がフィードバックをしてもらった。そのチャットのやりとりの中で、1年生から2年生の発表内容について出された質問に2年生がうまく答えきれなかったところでは、3年生が解決策を提案するやりとりが見られた。Teamsのチャットを教育活動に有効に活用し、学年の枠を超えて意見を交換できる力が育まれている。

教育にテクノロジーを取り入れることにより、子どもたちの学びが増強されるだけでなく、変革していくのである。また、龍谷中1、2年生は、共同研究をしている佐賀大学芸術地城デザイン学部の中村隆敏先生、大学生そして、redeco（佐大と企業との共同プロジェクト）の協力のもと、大学内のクリエイティブラーニングセンターでの研修に参加。VR（仮想現実）やMR（複合現実）などの最先端技術を体験した。龍中では今後も、様々な探究活動にSTEAM教育の視点を取り入れ、こうした経験を生かした学びを進めていく。

（文責 中村）

## 一日中、英語を楽しむ English Bridge

English Bridgeは、海外生活でよく経験する3つの場面（料理を注文する、道案内をする、助けを求める）において英語力を高めるプログラムです。ALTのアレン先生の企画によるもので、修了証書として手作りのパスポートが与えられました。最後に記念写真を撮影してみんなにっこり。実施後のアンケートでも100%に近い満足度が得られており、英語使用への自信が深まりました。

（文責 陣内）



# 活躍期待、「新生徒会」発足!!

徳森真鳳新生徒会長を中心に令和3年度生徒会が活動を始めました。「校内の身近な問題改善のため、生徒一人ひとりの自主性を大切にして、三学年が力を合わせながら、よりよい中学校として発展させたい。」と、はりきっています。

(文責 梶島)

## 《令和3年度生徒会執行役員》

会長	徳森 真鳳	(2年 赤松)
副会長	岡 夏未	(2年 東与賀)
宗教部部長	小川 なな	(2年 千代田西部)
副部長	古川 美月	(2年 松浦)
厚生部部長	吉田 遥寧	(1年 銀水)
文化部部長	川島 海斗	(1年 新栄)
副部長	宮崎 凜	(2年 大詫間)
副部長	大曲 遥寧	(1年 銀水)
副部長	吉田 理沙子	(2年 赤松)
副部長	梶原 佑月	(2年 神埼)
副部長	藤戸 久遠	(2年 千代田東部)
保育部部長	松永 歩樹	(1年 赤松)
学習部部長	野田 真	(2年 山口)
副部長	内田 健瑠	(1年 西与賀)
副部長	松尾 真亮	(1年 壱川)
副部長	古賀 尚希	(2年 篠山)
金色 ひより (1年 循誘)	百和花 (2年 東脊振)	



# 龍中生の輝き、入賞おめでとう!!

## ◆ユニセフ「第4回 絵で伝えよう!『私たちの地球』を守るSDGs絵画展」

日本ユニセフ協会 会長賞 宮崎 凜 (②大詫間)  
入選 黒尾丸 明咲 (①北方)

## ◆第61回佐賀県学童美術展

県特選 西村 知世 (①新栄)  
市入選 吉田 理沙子 (②赤松)  
野田 健瑠 (③赤松)  
宮国 輝弥 (③赤松)  
岡 夏未 (①西与賀)  
横須賀 愛理 (②東与賀)

市入選 吉田 理沙子 (①新栄)  
野田 健瑠 (②赤松)  
宮国 輝弥 (③赤松)  
岡 夏未 (①西与賀)  
横須賀 愛理 (②東与賀)

## ◆第80回全国教育美術展

入選 横須賀 愛理 (③三勲)  
佳作 奥田 廉太郎 (①勲一興)  
横須賀 愛理 (③二勲)

## ◆JA共済小・中学生書道コンクール

半紙の部 銀賞 岩野 凜 (③旭)  
奥田 恋子 (③勤興)  
野田 康生 (③道海島)  
岩野 凜 (③旭)

## ◆第19回岐阜女子大学全国書道展

奨励賞 奥田 恋子 (③勤興)  
特賞 野田 康生 (③道海島)  
徳森 真鳳 (②赤松)  
岩野 凜 (③旭)

## ◆令和2年度佐賀県統計グラフコンクール

パソコン統計グラフの部  
佳作 松永 歩樹 (①赤松)

## ◆第一回BOGEY CLUB ジュニアゴルフ大会

(12月27日 喜々津カントリー倶楽部)  
優勝 橋口 瑞子 (①川上)



宮国 輝弥 (③赤松)



吉田理沙子 (②赤松)



西村 知世 (①新栄)

## 高校生を迎える体験授業を開催しました

高校と大学が連携して行う教育活動である「高大連携」の取り組みの一環として、2020年12月10日、佐賀県伊万里市の敬徳高等学校の皆さんを迎えて、本学で体験授業を行いました。1、2年生37名と先生方の総勢42名の訪問があり、短い一日ではありましたが、短期大学の学びや雰囲気を感じ取っていただけたようです。

<< 12月10日 体験授業の時間割 >>

内 容	
体験授業① (35分)	特別講義 『生きるということ』 後藤学長
昼食休憩	★食堂の人気メニューを喫食
体験授業② (35分)	4講義から ひとつを受講 1) 絵本を通して世界を知ろう 2) 学内スタジオ見学と業界のお話 3) 発達心理学の入り口を学んでみよう 4) 子ども理解
体験授業③ (35分)	4講義から ひとつを受講 1) 読書とA I 2) お釣り様の生涯を知ろう 3) 心理学を学んでみよう 4) 言葉の不思議

### 今年度の 高大連携

- (2020) 12/17 藤蔭高等学校(日田市) 体験授業  
※毎年、保育コースの生徒を迎える体験授業を実施しています
- (2021) 2/18 九州国際高等学園(佐賀市) 体験授業実施予定
- (2021) 3/9 龍谷高等学校 出前授業実施予定



TEL  
0942・85・1121

鳥  
栖  
市

九州龍谷短期大学

学園だより

佐賀龍谷学園が設置する学校(短大・高校・中学)に、兄弟姉妹が二人以上在籍する場合、二人目以降のお子様の入学金が減免されます。詳しいことは、各学校事務室までお問い合わせください。

幼保連携型 認定こども園

九州龍谷短期大学付属

龍谷こども園



花の苗植え



高校の保育コースのお姉さんと一緒に芋ほり

子ども達は、龍谷高校の  
お兄さんやお姉さんと  
こんなことを楽しみました。  
楽しい思い出を  
ありがとうございました！



オータムフェスタ



高校のサッカー部のお兄さんとたまご組さんが一緒に芋ほり

